



|     |               |    |
|-----|---------------|----|
| 序 章 | 小さな石の世界への招待   | 2  |
| 第1章 | 古墳に納められた石製模造品 | 6  |
| 第2章 | 固船とムラの石製模造品   | 13 |
| 第3章 | 石製模造品をつくる     | 23 |
| 終 章 | 石製模造品がかわかること  | 31 |

- 1 本日は、かみつ町の史博物館第26特別展「小さな石のものがたり－石製焼製品からみるぐんまの古時代」の展示解説書として編纂した。
- 2 本特別展は、かみつ町の史博物館で決定し、焼成は焼山千品（本館主査）が行った。松田正彦（本館主査）、中野成花（本館副主査）の協力を得、清水登（本館次長）が監修した。
- 3 本書の編纂執筆は焼山千品の責任、付帯事業として実施する調査室委員会を論議に協議した。
- 4 本特別展は、以下のとおり実施される。
  - 会期 平成29年10月28日(土)～平成30年1月28日(日)
  - 会場 高崎市立かみつ町の史博物館
  - 付帯事業 28夜連続展
  - 平成29年12月13日(日)「群馬県の石製焼製品」深度解説式（群馬県立歴史博物館前）
  - 平成30年1月14日(日)「焼山地区との関係性からみた石製焼製品における群馬県の特徴」佐久間正明氏（公益財団法人焼山市文化・学芸振興公社）
- 5 互換には提供者を明示した。提供者の記載のないものは、当館撮影または高崎市教育委員会への提供によるものである。

## 小さな石の世界への招待

## 石製模造品とは

初期の石製模造品には、鉄製の農具や工具を模倣したものが多い。他に、鏡、剣、機織りの道具などを模したものもある。全体的に、初期ほどつくりが精巧で、次第に粗くなっていく。

